

コロナ禍の食支援利用者における世帯収入変化と食生活および食への関心の変化との関連

健康デザイン学科 4A 成川美美 指導：黒谷佳代

【背景】

2020年1月以降の新型コロナウイルス（以下、コロナ）の感染拡大を受け、人々の生活は大きく変化した。コロナ禍前と比べて、低所得層ほど世帯収入が減少割合が高い傾向が示されている。若年層や過去1年間の世帯収入が400～600万円未満の者などは、食生活関心度が悪化する者が多かったと報告がある（林美美 et al. 2021）。また、コロナ禍の食支援利用者の経済状況は、低所得や不安定な雇用形態といった経済的に困難な世帯が多い。したがって、**コロナによって経済的に困難な世帯ほど食生活が望ましくない方向に変化している**可能性がある。

【目的】

コロナ禍の2020年3月から2021年2月の間に食支援を利用した人を対象とし、コロナによる世帯収入の変化の有無別に、対象者特性、食生活の状況および関心の変化との関連を明らかにすることを目的とした。

【方法】

○インターネット調査の実施

- 2021年2月16～18日、株式会社クロス・マーケティングの登録会員を対象に無記名のインターネット調査を実施した。
- 対象は、2020年4月から2021年2月に子ども食堂・フードパントリー・フードバンク・子ども宅食などの食支援を利用した成人の男女とした。
- コロナ禍に初めて食支援を利用した時期、コロナ禍以前とコロナ禍の生活状況、1か月間の食品摂取頻度、コロナ禍以前からコロナ禍にかけての食生活への関心の変化を尋ねた。

○統計解析

- 回答者2500名から、世帯収入に矛盾があった者197名、コロナ禍以前からコロナ禍にかけて世帯収入が増加した者108名を除外した2195名を解析対象者とした。
- コロナ禍以前と比べてコロナ禍の収入が10万円単位区分で減少した者とそれ以外の者の2群（減少群、不変群）に分けた。
- 対象者特性、食生活への関心の変化、食品の摂取頻度について χ^2 検定、t検定を行った。

【結果】

- 減少群が568名、不変群が1617名であった。
- コロナ禍の就業形態の変化の有無は、「変化あり」と回答した者が減少群は84.8%、不変群は39.8%と有意な差が見られた（ $P < 0.001$ ）。（図1）
- コロナ禍以前からコロナ禍にかけての食生活への関心は、「以前に比べて、関心が高まった」の者が減少群で49.5%、不変群で34.0%、「以前から変わらず、関心は高い」の者が減少群で23.0%、不変群で27.3%と有意な差が見られた（ $P < 0.001$ ）。（図2）
- 食品の摂取頻度に関しては、減少群は不変群に比べて、インスタント麺、鶏肉、ハム・ウインナー・ソーセージ、大豆・大豆製品、納豆・みそ・しょうゆが有意に高かった。（表1）

表1 食品の摂取頻度

	減少群(%)	不変群(%)	p
インスタント麺			
毎日1回以上	9.7	7.5	<0.001
週2～6回	41.5	31.3	
週1回以下	48.8	61.2	
鶏肉			
毎日1回以上	12.6	9.3	0.004
週2～6回	58.3	54.9	
週1回以下	29.1	35.8	
ハム・ウインナー・ソーセージ			
毎日1回以上	13.0	9.7	0.009
週2～6回	47.6	44.3	
週1回以下	39.4	45.9	
大豆・大豆製品			
毎日1回以上	19.6	16.2	0.020
週2～6回	53.5	51.0	
週1回以下	27.0	32.8	
納豆・みそ・しょうゆ			
毎日1回以上	26.0	24.9	0.023
週2～6回	52.2	47.6	
週1回以下	21.8	27.6	

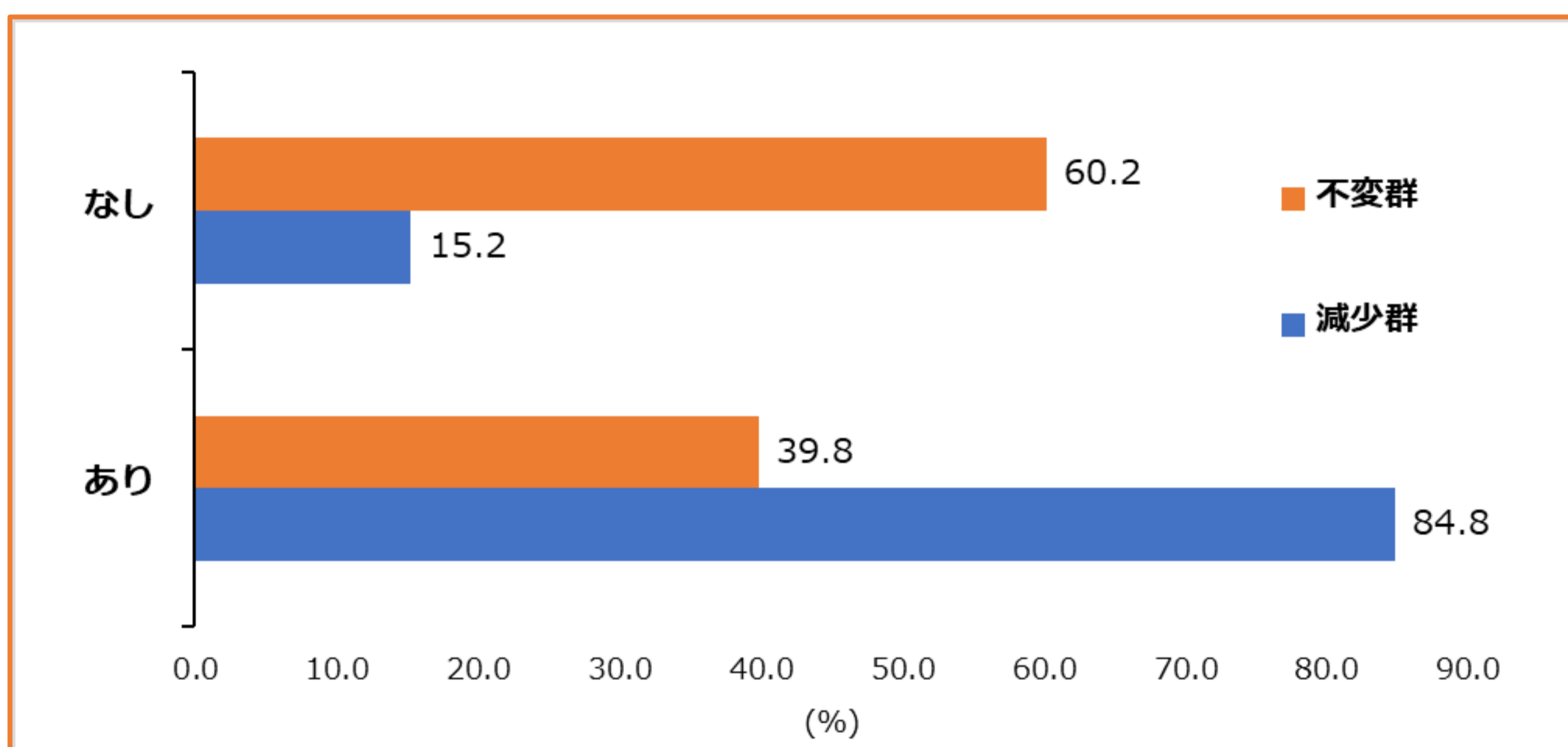


図1 コロナ禍の就業形態の変化の有無

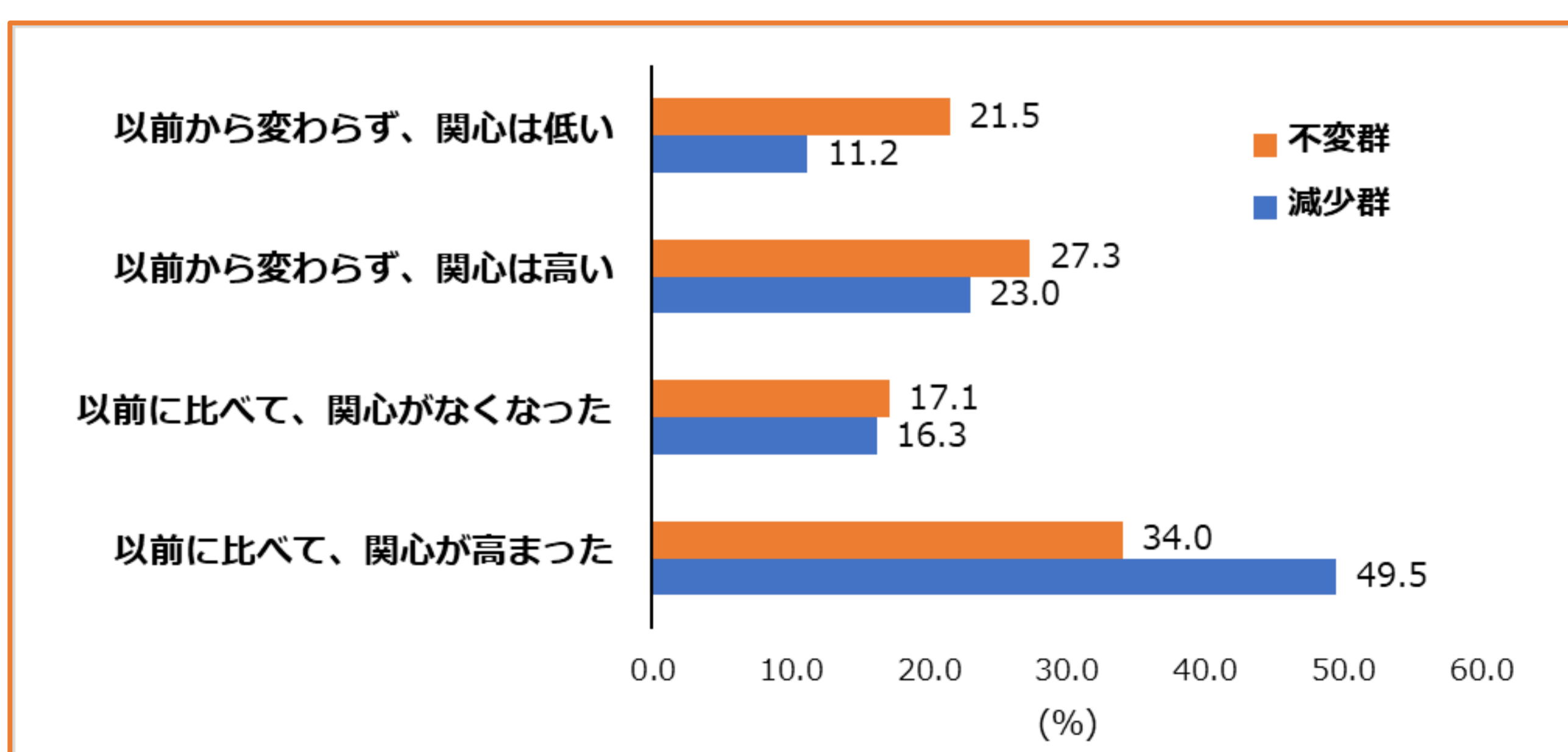


図2 コロナ禍以前からコロナ禍にかけての食生活への関心

【考察】

減少群の食生活の関心は、健康的な食生活実現の関心ではなく、**食品の価格や食費の節約**である可能性が示唆される。世帯収入の変化と食品の摂取頻度の関連では、たんぱく質含有物として豚肉や牛肉よりも**比較的安価な鶏肉や豆腐、納豆の消費が増えた**可能性が示される。本研究において、減少群で就業形態の変化が約8割にみられたことに加えて、コロナ禍の外出自粛の影響により、調理頻度が増加した世帯が多くあったと考えられる。調理頻度の増加に伴い、インスタント麺やハム・ウインナー・ソーセージといった**調理が手軽な食品の摂取が増えた**可能性がある。

【結論】

本研究では、食支援利用者のコロナ禍による世帯収入の変化が、食生活への関心や食物摂取状況に関連していた。コロナによって経済的影響を受けた層に対する、食支援の継続が必要であると考えられる。